

株式会社キャンバス

《証券コード: 4575》

2017年6月期決算説明会

2017年8月22日

Part 1
2017年6月期
事業報告

- **資金使途変更** (2016年9月27日)
 - ✓ 臨床開発計画をフェーズ1b試験(免疫チェックポイント阻害抗体併用)に変更
- **CBP501 学会発表** (2016年9月29日)
- **CBS9106(SL-801) ASH年次総会での発表** (2016年12月8日)
 - ✓ Stemline社最先行化合物SL-401との併用による相乗効果(*in vitro*)
- **東京大学との共同研究契約期間延長** (2017年3月30日)
 - ✓ 予備薬効試験結果を踏まえサンプルを増やした本実験を実施
- **CBP501 フェーズ1b試験開始承認取得** (2017年4月10日)
- **CBP501 作用メカニズム論文掲載** (2017年6月23日・7月20日)
- **富士フイルム株式会社との共同研究契約締結** (2017年6月26日)
 - ✓ ペプチドなど中分子による免疫系抗癌剤の共同研究

コミットメント1: CBP501臨床試験開始

- ✓ 従来計画していたフェーズ2b試験から方針転換(2016年9月27日公表)
 - 免疫チェックポイント阻害抗体との併用
 - 良好な結果を得られる可能性が高く、そのタイミングも早い・少ない症例数での臨床試験設計ができ、手元資金でも試験の開始が可能・期待する結果が得られたときの展開力が高い・新薬承認申請までの試験期間が短縮できる、などさまざまなメリット
- ✓ FDAから臨床試験(フェーズ1b試験)開始承認を取得(2017年4月10日公表)
- ✓ **最初の臨床試験実施施設オープン(2017年8月21日公表)**

コミットメント2: 後続パイプラインの開発候補化合物確定

- ✓ 次世代候補化合物 CBP-A08 獲得(2017年6月30日公表)
 - 毒性のプロファイルを確認するための動物試験も終了・大きな問題なし
 - 財務面等を勘案しつつできるだけ早期に前臨床試験のための化合物大量合成へ
- ✓ 他の次世代候補化合物(CBP-B、IDO/TDO阻害剤)も順調な研究進捗

CBP501

- 新規提携獲得活動・・・ 成果には至らず
 - ✓ フェーズ1b試験結果(途上データを含む)を用いた活動に重点移行
- 臨床試験・・・ 準備完了
 - ✓ フェーズ1b試験準備を完了
 - ✓ 8月に**最初の施設オープン**
 - ✓ スピーディな臨床試験進行のための施策
 - ✓ 詳細情報

“CBP501, Cisplatin and Nivolumab in Advanced Refractory Tumors”
ClinicalTrials.gov <https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT03113188>
(一部情報更新にタイムラグあり)

CBS9106

- 提携先Stemline社による臨床試験の状況・・・
 - ✓ 順調に進行。同社パイプラインにおいても重要な地位に
 - ✓ **最新状況**: 第7コホートへの投与中 (2017年8月Stemline社公表)
2017年後半(ESMO:2017年9月開催)にアップデート報告計画

SL-801 Overview

SL-801 Background
<ul style="list-style-type: none"> Novel, oral, small molecule inhibitor of XPO1 (Exportin 1)
XPO-1 target
<ul style="list-style-type: none"> Key nuclear transport oncogene Over-expressed by variety of solid and liquid cancers Clinically-validated target in multiple cancer types
Differentiated
<ul style="list-style-type: none"> Novel molecular structure Reversibly inhibits XPO1 Potential for safety and therapeutic window benefit
Phase 1 Enrolling
<ul style="list-style-type: none"> Patients with advanced solid tumors

XPO1-mediated Nuclear Transport

XPO1 is overexpressed by many cancers, leading to mislocalization of key tumor suppressors and growth-regulatory proteins in the cytoplasm.

XPO1 INHIBITOR

SL-801 induces cell cycle arrest and apoptosis in cancer cells and is broadly cytotoxic against wide array of solid and hematologic cancers.

SL-801 inhibits the loading of nuclear cargo to XPO1.

SL-801 is a small molecule drug candidate that reversibly inhibits XPO1-dependent nuclear export.

30

“Trial update expected later this year (ESMO)”

(Stemline社資料より)

後続の次世代パイプライン

由来	特徴・標的	探索・創出	最適化	前臨床試験
自社創出	CBP-A TAT-S216~CBP501の系譜に属する発展型	CBP-A08		
	CBP-B CBP-Aシリーズとまったく別の発想から作製したペプチド型免疫系抗癌剤			
ファルマバレーとの共同研究	IDO/TDO阻害剤 静岡県立大との共同研究			
	(ターゲット非公表) ファルマバレーのライブラリから探索・最適化			

富士フィルム株式会社との共同研究

Part 2
2017年6月期
決算報告

■ 事業収益 109百万円

✓ Stemline社とのCBS9106提携に基づく収益

- 技術アドバイザリーフィー 前期より微増 105百万円→109百万円

■ 営業損失 406百万円

- 研究開発費：研究費は前期比減少、開発費(臨床試験準備費用)増加
- 販売費及び一般管理費：行使可能期間到来による株式報酬費用の増加

■ 特別損失 17百万円

- 有形固定資産(建物・建物付属設備・工具器具備品・ソフトウェア)減損損失

■ 資金調達

✓ 第10回新株予約権(2015年7月発行)

- 2017年6月末までの行使・・・904千株(発行1,100千株に対し82.2%)調達累計 749百万円
- 2017年7月7日残存予約権取得償却までの累計・・・906千株(82.3%) 751百万円

2017年6月期 決算報告

貸借対照表概要

		2016年6月期	2017年6月期	増減(参考値)
資産の部	流動資産	923,428	973,558	50,130
	現金及び預金	815,110	889,368	74,258
	売掛金	56,202	56,054	△148
	固定資産	43,844	19,723	△24,121
	有形固定資産	23,025	—	△23,025
資産合計		967,273	993,281	26,008
負債の部	流動負債	38,135	66,187	28,052
	固定負債	—	—	—
	負債合計	38,135	66,187	28,052
純資産の部	株主資本	902,535	866,913	△35,622
	資本金	3,974,048	4,165,986	191,938
	資本剰余金	3,960,898	4,152,836	191,938
	利益剰余金	△7,032,195	△7,451,693	△419,498
	自己株式	△215	△215	—
	新株予約権	26,602	60,180	33,578
純資産合計		929,138	927,094	△2,044

(単位:千円)

Stemline社 技術アド
バイザリーフィー

有形固定資産減損

臨床試験開始準備に
伴う未払金増加

新株予約権行使に伴う
新株発行

2017年6月期 決算報告

損益計算書概要

(単位:千円)

	2016年6月期	2017年6月期	増減(参考値)
事業収益	105,243	109,852	4,609
事業費用	504,359	516,678	12,319
研究開発費	316,180	294,921	△21,259
販売費及び一般管理費	188,178	221,756	33,578
営業利益	△399,115	△406,825	△7,710
営業外損益	△14,624	6,173	20,797
経常利益	△413,739	△400,652	13,087
特別損益	—	△17,595	△17,595
税引前当期純利益	△413,739	△418,248	△4,509
当期純利益	△414,989	△419,498	△4,509

臨床試験準備費用

2017年6月期 決算報告

キャッシュフロー計算書概要

(単位:千円)

	2017年6月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△313,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	380,828
現金及び同等物に係る換算差額	6,840
現金及び同等物の増減額	74,258
現金及び同等物の期首残高	815,110
現金及び同等物の四半期末残高	889,368

新株予約権の発行・
新株発行による収入

為替差益

2018年6月期 業績見通し

2017年8月10日公表

(単位:百万円)

	2017年6月 修正 [※] 見通し	2017年6月期 実績	2018年6月期 見通し
事業収益	110	109	110
事業費用	574	516	710
研究開発費	341	294	491
販売費及び一般管理費	233	221	218
営業利益	△465	△406	△600
経常利益	△466	△400	△600
当期純利益	△467	△419	△601

※2017年1月4日公表
業績見通し修正

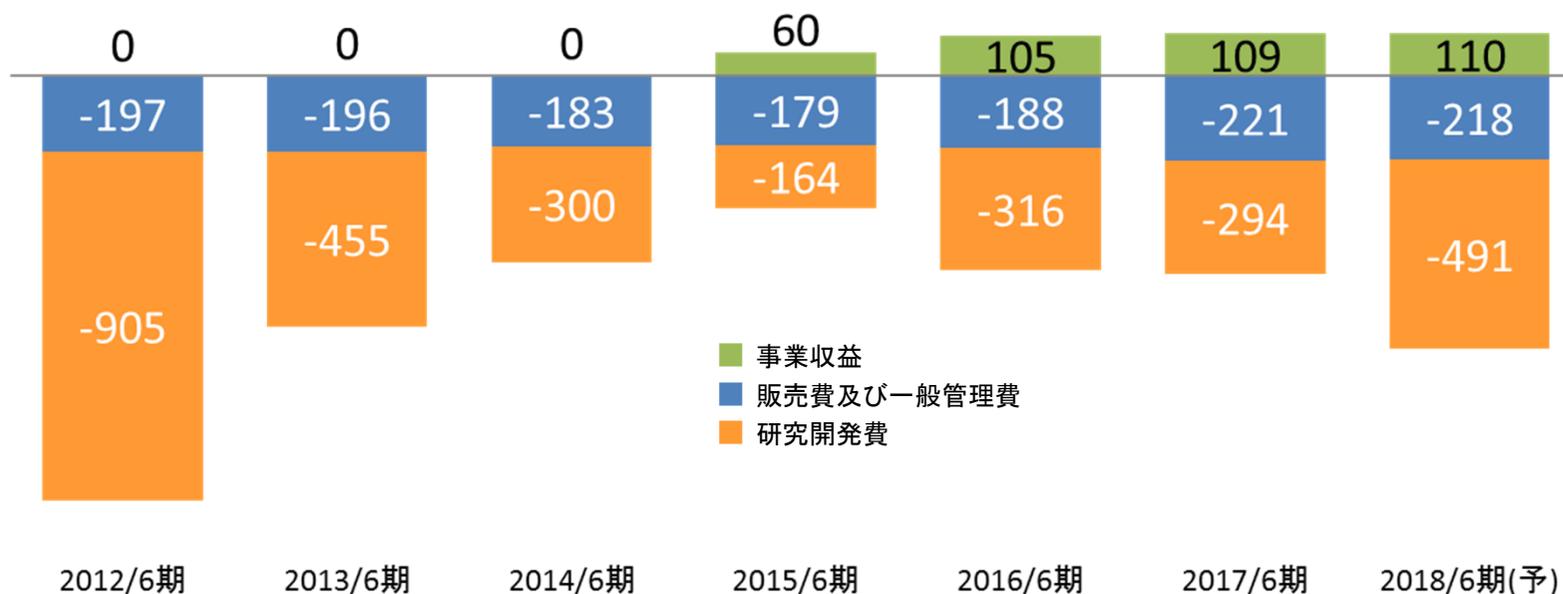
2018年6月期 業績見通し

■ 事業収益：110百万円

- ✓ Stemline社からの技術アドバイザリーフィー
- ✓ 新規提携獲得による上積みを図る

■ 事業費用：710百万円

- ✓ 研究開発費 491百万円（基礎研究費等175百万円+臨床開発費315百万円）
- ✓ 販売費及び一般管理費 218百万円





■ 将来見通し等に関する注意事項

- 本資料は、当社に関する情報の提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想・見通し等に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、受領者がいかなる目的にご利用される場合においても、本資料受領者ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

■ お問い合わせ先： 株式会社キャンバス 管理部 IR担当
Email IR@canbas.co.jp